



今宿小学校 学校だより



令和8年度 夏休み号 令和8年 7月 17日発行

校長 小野 公敬

7月に入って、例年よりやや気温の低いが続きました。プール日和とまでも言えず、少し寒い思いをしながらプールに入る日もありました。先々週くらいからようやく夏らしい暑さになってきたと思うと、今度は熱中症に警戒が必要になってくるのを乗り越えて、湿気と高温で、本当にぐっぐぐめまいのするような暑さ、息苦しさは危険を感じます。まだ、身体が暑さに慣れていないところで、疲れもたまりやすい時期かと思います。うまく暑さをしのぎながら、暑さに身体を慣らしていきましょう。いろいろな活動が予定されている夏休みにも暑さ対策をしっかりとて体調を崩さないように気を付けていきましょう。

長い休みだからこそ

長い夏休みにつきものなのが、夏休みの宿題です。どんな取り組み方をするのかは、年によって、人によって違います。早めに終わらせてしまう子、「今年こそは…」と計画を立てるけれど8月末まで宿題がやり残されてしまう子、はじめから夏休み満喫コースで、夏休み最後の日に大慌てで取り組む子など様々です。

普段の宿題よりは明らかに多い量をどうやってこなすか、「こんなたくさん出さなくても…」というお声はたまにいただくことがあります。長い休みの期間の宿題ということでもあります。夏休みの宿題は、夏前の学習内容の復習で、苦手だったところをなくす、あいまいだったところを定着させる目的で取り組む意味合いもあります。問題を解く中で定着を図るには、数をこなす、繰り返し練習する、いわゆる量が必要になってきます。一方でせっかく取り組むのであれば、テレビや動画を見ながらではなく、時間を決めて集中して取り組む、いわゆる質も必要になってきます。こちらはなかなか、本人だけでは難しいかもしれません。保護者の方の声かけが必要になってくるかもしれません。

もう一つ長い休みならではのことがあります。ご家庭によっては、習い事の予定や、帰省等の外出のスケジュールとの調整も必要になる場合もあるかもしれません。そうしたなかで、自分の宿題の取り組み方、スケジュールの立て方を小学生なりに考えて、できれば計画的に取り組んでほしいです。普段は毎日の時間割に合わせて生活していますが、夏休みはそうした時間割がない中で、自分の一日をどう過ごすか、考えることができます。宿題だけではなく、生活のリズムを考えることにもなり、お子様の自律を促す機会にもなろうかと思えます。44日間毎日だけでなく、少し期間を決めて、生活のリズムについてもぜひお子様と一緒にご相談を、そして併せて、ぜひお子様と一緒に宿題について話題にしてみてください。

夏休み前朝会でお話したこと。

長い休みの前に朝会を行っています。今回は特に子どもたちが、保護者の皆様、地域の皆様に関わっていただくことが普段以上に多くなるので、子どもたちには、交通ルールや地域でのきまりを守ること、暑さや急な天候の変化などから自分を守ることを伝えました。そして、楽しさに流されることなく正しいことは何か考え行動できるように、と呼びかけました。

地域の中でも、子どもたちに対して「ダメなことはダメ」と声をかけていただくとともに、頑張る姿が見られたらほめていただけると自信につながると思っています。引き続き子どもたちの見守りを、よろしくお願いします。

44日間の夏休み、子どもたちが伸び伸びと過ごし、様々な体験から自信をつけてくれること、そして8月31日に元気に会えることを願っています。素敵な夏休みをお過ごしください。